



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！



年頭の辞

白石東地区まちづくり協議会

会長 板垣 俊夫

白石東地区まちづくり協議会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族様とともに新春を寿ぎお喜びを申し上げます。

日頃より当地区まちづくり協議会の運営等につきまして、多大なご協力を賜っておりますこと、ここに改めて感謝を申し上げる次第であります。私共役員一同当協議会の皆様が夫々の地域において、安全にそして安心して生活が出来ますよう日々努力しているところであります。また地域の絆をもっとより強く発展させていけますよう更なるお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。

皆様お一人お一人の更なるお力添えをお願い申し上げますとともに、今年も素晴らしい1年となりますよう心からお祈り申し上げ、輝かしい新年の年頭の挨拶とさせていただきます。



札幌白石交通安全協会創立 60 周年

日頃より白石東地区の皆様には交通安全運動にご協力をいただき、まことにありがとうございます。

白石東地区では交通安全実践会や交通安全母の会を中心に、町内会・老人クラブ・スクールゾーン実行委員会など様々な団体の方々が、街頭啓発・決起大会・交通安全教室等の運動に取り組まれております。この度我々の交通安全運動の上部組織であります札幌白石交通安全協会が、創立 60 周年を迎えましたので、この協会の活動をご紹介します。

昭和 22 年 6 月、北海道交通安全協会が創立され、その下部組織である札幌交通安全協会に当協会の前身である菊水、白石、月寒、北広島の各分会がおかれていました。そして昭和 29 年 8 月に当協会が札幌東支部として創立され、昭和 31 年札幌東支部から札幌東交通安全協会に名称変更、さらに昭和 51 年札幌白石交通安全協会と現在の名称になり、今日に至っております。

継続は力なり、60 周年を迎え札幌白石交通安全協会は、地域の交通安全思想を育み、多くの人たちの命の安全を守るための活動を継続・推進しております。交通を取り巻く情勢は、社会の混迷、経済の低迷、国民の多様な意識の変化などにより日々厳しさを増していますが、この現実をしっかりと踏まえ地域のための活動を実施しております。当協会では年間スローガンを《ストップ・ザ交通事故〜めざせ安全で安心な北海道〜》を定めております。そのために、7 大セーフティキャンペーンとして★高齢者事故防止★シートベルト全席着用★自転車走行ルール・マナーアップ★スピードダウン★ディ・ライト実践★飲酒運転根絶★居眠り運転防止を掲げ、白石警察署および北海道交通安全協会の指導を受けながら、①交通道德の普及および交通安全対策の推進②関係機関・団体等との連絡調整③車両（自転車も含む）運転者の教育・訓練の推進④交通に関する調査・研究⑤交通安全功労者および優良交通従事者の表彰⑥その他の本会の目的達成に必要な事業の推進について積極的に取り組んでおります。

具体的には、白石区・白石警察署・関係団体主催の街頭啓発などに参加、白石区交通安全運動推進委員会・白石警察署・協力関係団体主催による春と秋の交通安全運動の決起大会・大型街頭啓発・早期街頭啓発などへの支援参加、また車両広報活動については当協会の 7 支部が、支部長を中心として効果的かつ確実な広報に努めるとともに、交通事故の当事者にならないようお互いに注意し合いながら啓発をしております。

支部の活動としては、毎年実施している東札幌支部・北東白石支部の子供・町内の交通安全教室の開催、北白石支部の決起大会および子供たちの交通安全教室の実施、東白石支部の小学校における交通標語などへの協力支援もいたしております。また、白石厚別地区ハイヤー・タクシー交通安全対策協議会が当協会のハイタク支部となり、女性ドライバー部会・東札幌支部・北白石支部・菊水支部と共に啓発活動を行い、協力支援され事業所の事故防止に取り組んでおります。

以上が当協会の概要と主な活動内容ですが、今後ともこれらの支援活動を継続するとともに、国から国民運動として示された交通事故死ゼロを目指す日を一日でも多く積み重ねることができるよう、実行力のある交通安全協会であり続けたいと思っております。

(福田)



白石こころーどタイルアート

白石東地区まちづくり協議会が主催する『白石こころーどタイルアート制作事業』は、今年が7年目となります。かつて旧 JR 千歳線があった跡地であるサイクリングロード（現在名称：白石こころーど）上の16丁目トンネル内のタイルアート事業が今年度より始まりました。この16丁目トンネルは北側と南側の壁面の総延長が60mほどの長い距離のため、この事業は3ヶ年で行うことになっております。

事業開始にあたり、モニュメントのデザインについて、地域小学生を含む住民の方々のワークショップを実施し、まちづくり協議会会長の板垣氏の発案による「平和」のテーマを参考に、彫刻家原田ミドー先生（江別市在住）のデザインと制作指導により、8月17日から31日の15日間で初年度の事業を終了致しました。トンネル内の作業は、タイル協会さんの協力を頂いた約1cm～4cmぐらいの大きさに割ったカラータイルを壁画のように貼りつける作業です。その枚数はなんと！40万枚にもなります。作業に協力して下さる人々は、通りすがりの人や、周辺にお住まいの方々です。また、地域内にある「東白石小学校」「大谷地小学校」の高学年の児童がクラスぐるみで、先生方の引率のもとに参加して下さいました。

この事業による作業が、見知らぬ人々同士の声かけ運動にもなり、一種の連帯感が生まれているように感じました。特に親子連れで参加して頂く数が、近年増えているようです。これはとても情操教育に役立ち将来参加した子供たちにとって“親と共に参加した楽しい思い出”として長く記憶に残ると思われまます。

トンネルのこの事業が、地域環境美化に寄与し、これからも地域の皆様の協力により継続されることを期待し、来年度の事業開始を楽しみにしております。
(田森)



厚別川緑地を楽しむ会

第5回「厚別川緑地の秋を楽しむ会」が10月10日（土）に、厚別川緑地のバーベキュー広場（白石区流通センター7丁目）で開催されました。昨年度は、台風のため厚別川緑地が洪水の影響で使用できず中止となってしまい、2年ぶりの開催となりました。しかし、前々日から降り出した雨は、前日になっても止まず、開催がまたしても危ぶまれましたが、当日は願いも叶い秋晴れの絶好の日和でした。

開会式後、子供たちは、火起こし体験やけん玉・コマ回し・竹馬に挑戦しました。老人クラブや青少年育成委員のスタッフに教えてもらいながら、「けむりが出た！」と喜ぶ子、黙々とけん玉に挑戦し続ける子、「名人だね！」とスタッフから褒められる子、竹馬に悪戦苦闘していた子等々、思い思いに楽しんでいました。子供たちが遊んでいる間に、町内会スタッフ担当のバーベキューの準備が整い、みんなで美味しい肉や野菜に舌鼓を打ちながら、40kgあまりの肉をお腹に収め、深まり行く秋を満喫した121名でした。

余談になりますが、翌日も雨が降り、天の恵みかスタッフの日頃の行いか、ホッと胸を撫で下ろしました。

これからも世代交流プロジェクト事業として、子供からお年寄りまで一緒に楽しむ機会を大切にしていきたいと考えております。冬の事業として1月13日（水）に「雪であそぼう！ at 大谷地小学校」を、大谷地小学校のグラウンドで開催する予定ですので、是非参加して楽しんでいただければ幸いです。

(鈴木)



白い恋人パーク見学

去る10月4日、白石東地区青少年育成委員会文化部行事として企画した「白い恋人パーク見学会」は、予想を上回る46名の児童と育成委員10名の参加があり、地下鉄を利用して宮の沢駅から徒歩で白い恋人パークに向かいました。お菓子作り体験では、コック帽、エプロン、靴カバーを着け、みんなかわいいコックさんになり、焼きあがったハート型のクッキーに白いチョコペンで、思い思いの絵を楽しそうに描いていました。

その後、白い恋人の製造ラインを見学し、スタンプラリーにも挑戦し、くじ引き券をゲットしました。全員が大きなガラガラを回し、参加賞のシールをもらいがっかりする子、三等のお菓子の詰め合わせを当て喜びぶ子さまざまでしたが、意外なイベントに子どもたちは大喜びでした。

帰りには、白い恋人3個入りの小箱と、自分たちが描いたお絵かきクッキーをお土産に頂き、子どもたちは満足そうでした。公共交通機関を利用しての移動でしたが、事故も無く楽しい1日を過ごすことができました。

(鶴巻)



平成27年 青色パトロール勉強会

去る11月20日、表記勉強会を各町内会長様の出席を頂き隊員29名(欠席3名)により開催いたしました。当日は北海道警察白石署より生活安全課祢津係長をお迎えし、当地域内の「犯罪発生状況及び傾向」と「交通事故の発生状況」等につき種々お話を頂きましたが、私たちの住むこの地域も決して事故・犯罪等が少ない地域ではないようです。

さて平成18年10月に発足の「白石東青色パトロール隊」も明年で10年になりますが、今日まで大きな事故・事件に遭遇することもなく無事役目を果たしてまいりましたが、結成以来のメンバーも多く、高齢化が進行中という状況です。新聞紙上には交通事故の掲載されない日は無く、特に高齢者の関連する事故が多いようです。メンバーもお互い十分に注意したいと思います。

先日のパトロール中に下校中の小学生3人組に「気を付けて帰りなさい」と声をかけたら「おじさんたちもね」とのお返し、車中の隊員3人とも思わず「はい」と!!

普段は隊員どうしの交流機会もないため勉強会後の懇親会も大いに盛り上がり、今後とも隊発足当時の目標である、「私たちの住むまちを安全なまちにしたい!」「安心して暮らせるまちにしたい!」との思いをこめ、今後一層地域内の安全のため活動することを誓い終了いたしました。お忙しい中ご出席下さいました各町内会長様有り難うございました。

また、地域の皆様「青パト隊」を今後ともよろしくお願いします。

(杉浦)



スポーツアラカルト

★白石サイクリングロードで実施されていた白石区民ふれあい健康マラソンが、今年度より白石ころーどと名称を変更し、第23回 白石ころーどふれあいマラソンとして大会が開催されました。

大会当日9月25日〔日〕は、天気予報では降雨ということで曇り空でありましたが、万生公園グラウンドを発着コースで開催されました。インターネット等での参加申し込みで、891名、大会当日の出場者数は777名と、過去最高の参加者でした。

親子ペアから10Kmまでの9種目に老若男女が力一杯の走りを見せていました。親子そろっての健康づくりや、体力に合わせた種目の参加、それぞれに清々しい汗を流しておりました。白石東地区からも多くの選手が出場しておりました。競技も順調に進んで、閉会式となった時に、突然雷雨となり、中断する場面も見られましたが、大きなトラブルや自転車との接触もなく終了いたしました。

★第25回 白石東地区卓球大会が、10月25日〔日〕に大谷地小学校体育館で開催されました。

参加者は、小学生から壮年までの選手52名でした。対戦相手とのかけひき、勝利の歓喜の声、敗戦での涙、大会を通し選手諸君の活躍により、和やかなうちに終了いたしました。

全ての対戦をリーグ戦で実施し、ブロックでトップの選手による決勝トーナメント戦という方式で実施いたしました。大人の方の参加者が少なく一般・壮年を合同で男子の部・女子の部としてリーグ戦で実施いたしました。

成績は、小学生低学年の部 優勝 栄通18丁目町内会の3年生の男子児童でした。小学生高学年の部 優勝は大谷地第一町内会の6年生の男子児童でした。

一般男子・女子の部には、少年野球に関係する皆さんが参加していただきました。対戦は、一般男女・壮年部を合わせて実施しましたが、順位戦はそれぞれの種目で実施し、一般女子では東白石町内会の方が優勝、一般男子は、大谷地第一町内会の方でした。壮年男子・女子では、柏町内会の方が優勝いたしました。

全体を通して、会場のあちらこちらで、歓声が上がり、卓球を楽しんでいた様子がうかがえ有意義な大会であったと思います。

★第43回 白石区民卓球大会が、11月23日〔水・祝〕に白石区体育館で開催されました。

大会は、個人戦のみで、出場選手は65名でした。対戦は、すべてリーグ戦で実施し、順位戦でトーナメント戦として実施いたしました。小学生男女4名、壮年男女3名、一般女子6名、というように各部門とも参加者が少なく、過去最少の参加者で大会が開催されました。一般・壮年女子も合同でリーグ戦で実施し、壮年女子では柏町内会の方が第3位でした。

本大会の開催日が連休中であったこと、全市中学校体育大会があったことなど、参加者減の要因と考えられますが、各地域での本大会の趣旨を理解し、活動していくことが大切なことであろうと思っております。地区大会・白石区民大会の開催にあたりましては、その運営に携わった皆さん、選手の皆さん、保護者の皆さんに、感謝申し上げます。

白石東地区では、町内会連合会、体育振興会、まちづくり協議会、青少年育成委員会、白石東地区センター等で各種スポーツ・文化イベントを予定しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

今後の予定は、平成28年1月24日〔日〕白石東地区室内スポレク大会、2月18日〔木〕地区センターゲートボールを楽しむ会、2月28日〔日〕白石区民室内スポレク大会が予定されております。

(長井)



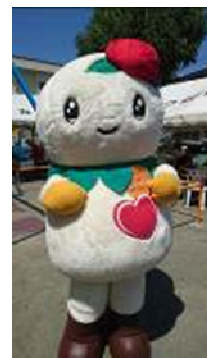
心のふれあい夏祭り～！

平成 27 年 8 月 8 日（日）栄通しらかば公園にて昨年に引き続き「心のふれあい夏まつり」を開催させていただきました。



さまざまな災害が日本各地を襲う中、決して他人事ではない危機を感じ、災害に対する普段の備えを勧めるとともに、町内会の企業団体や介護福祉事業所そして行政との相互連携や相互支援を強め、災害時に助けあう地域連携の確立を進めてまいりました。福祉活動、環境保護活動、青少年育成活動、防犯活動などの自主防災活動とともに日常生活を大事にしながら、そして楽しみながら地域の人同士のふれあいが深められたひと時でした。

白石区役所保健福祉部や防災協会による講座の開催、北海道警察の「ほくとくん」・消防署の「リスキュー」・白石区の人気キャラクター「しろっぴー」の参加による記念写真撮影会、白石南郷 18 郵便局長率いる「太極拳」の披露、そして町内会の有志が奏でる盆太鼓の盆踊りなどで、参加された方々と楽しいひと時を送りました。



こうした「心のふれあい」や「状況」が災害時の地域連携に役立つものと信じております。「我が町内会からは被害者をださぬ」をスローガンに今後も取り組んでいきます。

ご指導とご協力いただきました実行委員の皆様や関係者の皆様にご心から感謝いたします。

- 「共催」 医療法人徳洲会病院「徳州苑しろいし」・小規模多機能ケアホームはまなす・白石南 18 郵便局・さくら介護ステーションソニア
- 「協力」 コープさっぽろルーシー店・公益財団法人札幌市防災協会・白石警察署生活安全係・札幌市環境局白石清掃事務所・白石区保健福祉部活動推進係・白石区役所地域振興課・札幌市白石第 3 地域包括支援センター・札幌市白石区介護予防センター本通
- 「主催」 栄通 18 丁目町内会「心のふれあい夏まつり」実行委員会

(市橋)

取材スタッフ 市橋〔まち協〕・杉浦〔まち協〕・中村〔まち協〕・田森〔まち協〕・福田〔まち協〕・横野〔まち協〕
・石山〔まち協〕・長井〔体振〕・東海林〔青少年育成〕・鈴木〔青少年育成〕・鶴巻〔青少年育成〕

**スタッフ
募集中！**

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通 18 丁目南 2-6 白石東まちづくりセンター内
TEL : 011-862-0813 FAX : 011-862-8694 (休館 : 土・日・祝日)